

管理番号

2022-047-1

研究内容の説明文

説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	献血血液の搬送時の温度管理に関する検討 (原料血液及び血液製剤の温度管理リファレンスデータの取得と模擬血液バッグの調製)
研究期間	2022 年度から 2024 年度
研究機関名	九州ブロック血液センター
研究責任者職氏名	係長 中村 仁美

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

九州地方は豪雨や地震等の災害多発地域の一つであり、発災時には搬送経路が寸断されたり電気の供給が途絶したりすることで規定通りの保管管理が行えない状況が発生することが想定されます。その際に、通常の規定を超えた条件での保管管理後の検査結果が、規定通りの保管管理下にあった検体や製剤の性状とどのように異なるか、もしくは合っているかを比較するために、血液の性質に類似した成分を用いた模擬血液バッグや出庫出来なかった原料血液から調製した模擬検体を用いて行います。発災その他の原因で管理温度を逸脱した状況においての血液製剤ならびに検体についての許容しうる保管管理条件を明らかにすることは、献血血液を有効に活用することに繋がります。

2 使用する献血者の試料と情報の項目

献血者の試料の種類： 血液製剤として出庫できなかった原料血液

献血者の情報： 感染症および生化学検査結果

感染症一次検査として通常献血血液を検査している項目

[B 型肝炎ウイルス抗原とその抗体, C 型肝炎ウイルス抗体, 梅毒抗体, ヒト T 細胞白血病ウイルスタイプ 1 および 2 抗体, ヒト免疫不全ウイルスタイプ 1 および 2 の抗原とその抗体, ヒトパルボウイルス B19 抗原]

感染症因子の核酸検査として通常献血血液を検査している項目

[B 型肝炎ウイルス/C 型肝炎ウイルス/ヒト免疫不全ウイルス混合検出検査, B 型肝炎ウイルス単独検出検査, C 型肝炎ウイルス単独検出検査, ヒト免疫不全ウイルス単独検出検査]

生化学検査として通常献血血液を検査している項目

[肝臓の細胞で作られる酵素アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT), 胆管で作られる酵素ガンマ-グルタミルトランスフェラーゼ(γ -GTP), 総蛋白質量(TP), アルブミン, アルブミンとグロブリンの比率, 総コレステロール]

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名 なし

4 献血血液等を利用又は提供を開始する予定日

2024 年 6 月 22 日

5 方法《献血者の試料・情報の使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析： 行いません。 行います。

発災時の規定通りの保管管理が行えない状況が発生することを想定して、通常の規定を超えた条件（4℃または 40℃で逸脱となる時間から更に 24 時間超過保存）で保管した検体を用いて温度変化や感染症・生化学についての検査を実施して、規定通りに保管した場合とどのように異なるかもしくは合っているかを、模擬血液バックや模擬検体を用いて比較します。

所属	日本赤十字社九州ブロック血液センター
担当者	相良康子
電話	092-921-1403
Mail	hinshitsu-chikushino@qc.bbc.jrc.or.jp